

平成28年度第3回SPODネットワークコア運営協議会 議事次第

日時：平成28年7月28日（木）9：00～10：00

場所：各コア校（遠隔会議システム利用）

議題：

1. SPODフォーラムについて

- ・ SPODフォーラム2016シンポジウムについて 【資料1-1】 P 1
- ・ SPODフォーラム2016の申し込み状況について（学校別） 【資料1-2】 P 3
- ・ SPODフォーラム2016の申し込み状況について（プログラム別） 【資料1-3】 P 5
- ・ SPODフォーラム2016ポスターセッション申込一覧 【資料1-4】 P 7

2. 平成29年度における負担金の算定方法について

- ・ 平成29年度の負担金算定に係る平成28年5月1日現在の教職員数調査について 【資料2-1】 P 9
- ・ SPOD加盟校教職員数回答票 【資料2-2】 P 11

3. SPODの取組内容について

- ・ SPODチラシ（案） 【資料3】 P 13
- ・ SPODチラシ（現行） 【参考資料1-1】 P 15
- ・ SPOD将来構想について 【参考資料1-2】 P 17

4. 新任教員研修の開催について

- ・ 学生の学びを支援する授業準備ワークショップ実施要項&チラシ 【資料4-1】 P 21
- ・ よりよい授業のためのFDワークショップ実施要項 【資料4-2】 P 27

5. 平成28年度職員のための講師養成講座について

- ・ 平成28年度職員のための講師養成講座アンケート結果 【資料5】 P 31
- ・ 「平成28年度職員のための講師養成講座」実施要項 【参考資料2】 P 37

6. SDC/I Rer養成講座について

- ・ SDC/I Rer養成講座チラシ 【資料6】 P 39

7. その他

SPODフォーラム2016 ポスターセッション取組一覧

分類A: 経験学習 15件

分類B: FD/SD一般 12件

ポスター 番号	分類	テーマ	発表代表者			共同発表者
			氏名	所属	SPOD 加盟校	
1	B	SPODが及ぼす組織変容の研究	塩崎 俊彦	高知大学	○	杉田 郁代, 立川 明(高知大学)
2	B	大学教職員の自己啓発を促す図書提案の効果	加地 真弥	愛媛大学	○	
3	A	経験則を経験知へー前例を見直し新たな知の構築へー	中村 章二	愛知教育大学		
4	B	比治山大学IR委員会における職員育成に係る取組み	松村 さとみ	比治山大学		松村 敏博(比治山大学)
5	B	職員IRフォーラム(SIR)の実践報告	荒木 俊博	淑徳大学		上島 洋佑(金沢大学)
6	A	徳大COC+中期インターンシップ体系化の取り組み	川崎 修良	徳島大学	○	川崎 克寛, 堺 里絵, 森脇 一恵, 宮本 紀子 (徳島大学)
7	A	全学必修科目「地域学実習」実施による学生の意識変化	一色 健司	高知県立大学	○	
8	A	低年次を対象とした東京PBL合宿の効果検証(サービスラーニング)	杉田 郁代	高知大学	○	塩崎 俊彦, 池田 啓実(高知大学)
9	A	金沢大学ケースメソッド実践力強化プロジェクト	松村 典彦	金沢大学		近藤 真史, 三島 卓也(金沢大学)
10	A	学科学年横断型PBL科目Co+workでの経験学習	佐伯 亮太	明石工業高等専門学校		平石 年弘(明石工業高等専門学校)
11	A	芝浦工大の体系的PBL学修による人材育成とその課題	坂井 直道	芝浦工業大学		井上 雅裕, 長谷川 浩志, 榎原 暢久, 鈴木 洋 (芝浦工業大学)
12	A	体験学習の体系化ー教職協働による仕組みづくりー	高良 要多	桃山学院大学		
13	A	慢性期看護学における行動変容自己実践プログラム	二本柳 圭	高知学園短期大学	○	池田 恵美子, 下元 理恵(高知学園短期大学)
14	A	行動型・参加型学修を基盤とするAL推進の取組	五條 小枝子	県立広島大学		川口 博之(県立広島大学)
15	A	経験とふりかえりで能力を伸ばすサービスラーニング	立川 明	高知大学	○	
16	A	国際教育を主眼とした日韓遠隔協働学習授業の構築	大塚 薫	高知大学	○	斎藤 麻子(韓国明知大学校), 林 翠芳(高知大学)
17	A	TOEFLチュータープログラムー学習者の経験と内省ー	林 千紘	神田外語大学		大場 枝里, 辻 るりこ, ホール 真由子 (神田外語大学)
18	B	理工系分野におけるFDプログラム開発と今後の展望	榎原 暢久	芝浦工業大学		吉田 博(徳島大学)
19	B	初年次教育への導入を通じたALの全学的普及の取組	新原 将義	徳島大学	○	久保田 祐歌, 吉田 博(徳島大学)
20	A	演習授業を深い学びへ誘うための試み	長谷川 紀幸	横浜国立大学		
21	B	教職共同による準正課教育のトライアルから恒常化へ	新正 裕尚	東京経済大学		角田 浩司, 久世 泰子, 相澤 伸依, 榎 基宏, 板橋 雄大, 大久保 奈弥, 阿部 弘樹, 清原文, 田中 理沙(東京経済大学)
22	B	教職員・組織全体の教育力向上に資する取り組み	Mazur Michal	北海道大学		山本 堅一(北海道大学)
23	A	「組織を改善するアクティブ・ランチミーティングの試み」	青山 貴子	山梨学院大学		石川 勝彦(山梨学院大学)
24	B	Actionに資する教学IRー関西大学におけるオーダーメイド型IRによる取組ー	紺田 広明	関西大学		森 朋子(関西大学)
25	B	正課科目における成績と分野横断的能力との相関分析	松本 高志	阿南工業高等専門学校	○	小松 実, 山田 耕太郎, 川畑 成之, 太田 健吾, 菊池 弥生(阿南工業高等専門学校)
26	B	福岡歯科大学におけるディプロマポリシー・学士力の認知度について	内田 竜司	福岡歯科大学		児玉 淳, 赤間 尚希, 川辺 里美(福岡歯科大学)
27	B	男女共同参画推進に関する学生への意識啓発	桐木 陽子	松山東雲短期大学	○	郡司島 宏美(愛媛大学)

■ポスターセッション

日時: 平成28年8月24日(水) 17:40~19:00 ※見学自由

ポスター番号が奇数の発表 17:40~18:20

偶数の発表 18:20~19:00

会場: 共通講義棟B2階201講義室

※以下の時間帯は会場を開放しています。

8/24(水) 15:30~19:00, 8/25(木) 9:15~17:30, 8/26(金) 9:15~13:00

印章省略

愛 大 学 企 第 号
平成28年 月 日四国地区大学教職員能力開発ネットワーク加盟校
各大学長，短期大学長，高等専門学校長 殿

(四国地区大学教職員能力開発ネットワーク会長)

国立大学法人愛媛大学長

大 橋 裕 一

平成29年度の負担金算定に係る平成28年5月1日現在の
教職員数について (依頼)

日頃より、「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」(SPOD)事業に御協力賜りありがとうございます。

さて、標記のことにつきましては、平成28年7月28日開催のネットワークコア運営協議会での検討を踏まえ、今年度と同様に、平成28年5月1日現在の学校基本調査における教職員数に基づき算定する予定であります。

については、別添回答票に必要事項を御記入の上、平成28年9月1日(木)までに、SPOD事務局(spod@stu.ehime-u.ac.jp)あてメールにて御回答願います。

なお、回答票の提出に当たっては、根拠資料として、今年度文部科学省に提出した本年5月1日現在の学生教職員等状況票(高専は学校調査票)の写しを併せて送付願います。

おって、各加盟校の負担金額については、平成29年3月開催予定のネットワーク総会の議を経て最終的に決定いたしますので、念のため申し添えます。

(添付書類)

- 1 SPOD加盟校教職員数回答票
- 2 平成28年度学校基本調査 学生教職員等状況票等様式

(本件担当)

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク事務局

(愛媛大学教育学生支援部教育企画課)

濱元，五貫

〒790-8577 愛媛県松山市文京町3番

TEL：089-927-9154 (直通)

FAX：089-927-8100

E-mail：spod@stu.ehime-u.ac.jp

SPOD加盟校教職員数回答票

大学等名 ※大学名等を記載ください	常勤教員数(H28.5.1現在)				常勤職員数(本務者)			⑧対象教職員数合計 (⑥+⑦)
	①本務者	②附属病院	③附置研究所	⑥対象教員数 (①-②-③)	④事務系	⑤教務系	⑦対象職員数 (④+⑤)	
				0			0	0

【留意事項】

(1)回答票の作成に当たっては、別添「学生教職員等状況票」または「学校調査票」を参考に、上記網掛け部分(「大学等名」及び「教職員数①～⑤」)について、各大学等における該当教職員数を入力ください。

なお、「⑥対象教員数」、「⑦対象職員数」、「⑧対象教職員数合計」は入力不要です(合計数は自動計算します)。

(2)回答票の回答に当たっては、教員数の根拠資料として、平成28年度学校基本調査「学校調査票(大学・短期大学) 学生教職員等状況票」もしくは「学校調査票(高等専門学校)」を回答票と併せて提出ください。

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」

URL <http://www.spod.ehime-u.ac.jp/>

(ネットワーク略称**SPOD** = **S**hikoku**P**rofessional and **O**rganizational **D**evelopment Network in Higher Education)

学生の豊かな学びと成長を支援する、実践的力量をもった
高等教育のプロフェッショナルの輩出

愛媛…12校

- 大学 ⑤
 - ・愛媛大学(国)
 - ・愛媛県立医療技術大学(公)
 - ・聖カタリナ大学(私)
 - ・松山大学(私)
 - ・松山東雲女子大学(私)
- 短期大学 ⑤
 - ・今治明德短期大学(私)
 - ・環太平洋大学短期大学部(私)
 - ・聖カタリナ大学短期大学部(私)
 - ・松山東雲短期大学(私)
 - ・松山短期大学(私)
- 高等専門学校 ②
 - ・新居浜工業高等専門学校(国)
 - ・弓削商船高等専門学校(国)

香川…6校

- 大学 ③
 - ・香川大学(国)
 - ・香川県立保健医療大学(公)
 - ・高松大学(私)
- 短期大学 ②
 - ・香川短期大学(私)
 - ・高松短期大学(私)
- 高等専門学校 ①
 - ・香川高等専門学校(国)

高知…6校

- 大学 ③
 - ・高知大学(国)
 - ・高知県立大学(公)
 - ・高知工科大学(公)
- 短期大学 ②
 - ・高知短期大学(公)
 - ・高知学園短期大学(私)
- 高等専門学校 ①
 - ・高知工業高等専門学校(国)

徳島…8校

- 大学 ④
 - ・徳島大学(国)
 - ・鳴門教育大学(国)
 - ・四国大学(私)
 - ・徳島文理大学(私)
- 短期大学 ③
 - ・四国大学短期大学部(私)
 - ・徳島工業短期大学(私)
 - ・徳島文理大学短期大学部(私)
- 高等専門学校 ①
 - ・阿南工業高等専門学校(国)

ネットワーク加盟校の構成

四国地区の高等教育機関が加盟
ネットワーク参加校総数 32校
(大学15、短期大学12、高等専門学校5)

SPODの概要

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」(SPOD)は、四国地区の32の国公立大学・短期大学・高等専門学校によって構成される教職員能力開発の大学間ネットワークです。平成20年度に文部科学省戦略的大学連携支援事業の採択を機に設立されました。本事業は平成22年度で補助金交付が終了しましたが、平成23年度から各加盟校の分担金による自主運営体制のもと、取組が継続されています。

SPODは、ネットワークの活動を通じて、学生の豊かな学びと成長を支援する実践的力量をもった高等教育のプロフェッショナルを輩出することを目指しています。4県に位置するネットワークコア校を中心に、加盟校が協力・連携して、教職員の能力開発(FD・SD)のプログラムやサービスを提供しています。

取組内容

FD・SD共通

- 1 SPODフォーラムの開催
- 2 コンサルティング・講師派遣事業
- 3 FD・SDに関する調査研究
- 4 情報提供サービス

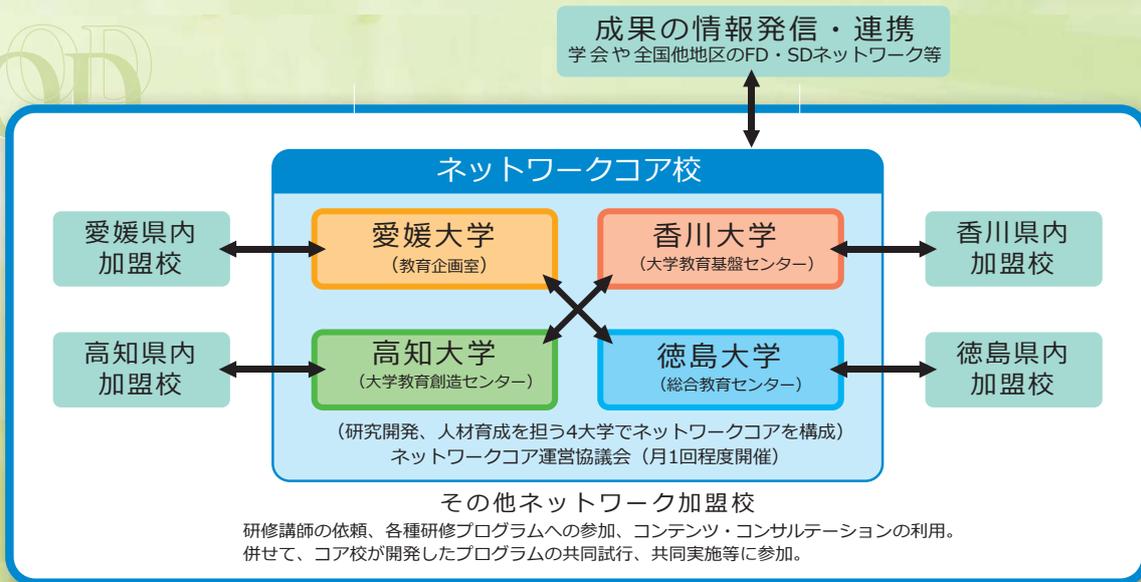
FD

- 1 FD担当者の養成
- 2 新任教員研修の実施、公開
- 3 ティーチングポートフォリオ研修
- 4 各加盟校におけるプログラムの公開

SD

- 1 SDプログラムの体系的・段階的・継続的实施
- 2 次世代リーダー養成プログラムの実施
- 3 講師養成によるSDの継続的な実施
- 4 SPOD-SDCの輩出

ネットワーク運営体制



① ネットワークコア、加盟校間での連携



② 加盟校相互での連携

研修講師派遣、先進事例実地調査、遠隔会議システム等を活用した情報交換 等

実績・成果

■ 集中日程によるFD・SD研修を行うSPODフォーラムの実施

フォーラム2009 (参加者延べ約980名)、2010 (参加者延べ約1,000名)、2011 (参加者延べ約1,300名)、2012 (参加者延べ約1,400名)、2013 (参加者延べ約1,540名)、2014 (参加者延べ約1,300名)、2015 (参加者延べ約1,500名) を開催。参加者の97%から有意義又は満足との高い評価を得ている。

■ 多種多様な研修プログラムの実施

加盟校が参加可能なFD・SDプログラムを網羅的に掲載した統一ガイドブック「研修プログラムガイド」を作成・配付することにより、平成27年度は延べ2,500名以上の教職員が参加した。

■ FDプログラムの標準化

ネットワークコア校において、ほぼ共通の目標、内容、日程での新任教員研修を実施している。どのコア校の研修に参加しても同様の効果を得ることができる。

■ 教職員によるSDプログラムの開発・実施

教職員が、大学、短期大学、高等専門学校のニーズを取り入れたSDマップを教職協働で完成させ、マップに基づき開発した研修プログラムを実施している。SD研修プログラムを担当できる職員 (講師養成) を育成するための研修も実施し、SPODで講師を務めている。



- ・小規模校が単独で開催することが難しい研修を実施
- ・FD・SDに関する最新の話題、課題、考え方などの情報の共有が可能

高知大学 平成 28 年度 学生の学びを支援する授業準備ワークショップ実施要項

1. 主催

高知大学 大学教育創造センター

2. 期日

平成28年8月30日(火)～8月31日(水)

8月30日 8:45～受付開始 9:00 ～ 20:00 ※交流会をはさんで、参加者相互の意見交換、模擬授業の準備作業などを行います。

8月31日 9:00 ～ 12:00

* 8月30日には、夕食をともにしながらの意見交換や懇親のための交流会があります。それぞれの部署を越えた新任教員間の関係づくりをめざしています。

3. 場所

高知大学朝倉キャンパス共通教育3号館 1階310番教室

4. 参加対象者(一度参加した者は除く)

- 1) 一昨年度から本年度にかけて大学等に採用された授業担当または担当予定の教員(授業担当経験5年以上の方を除く)
- 2) 上記以外で参加を希望する教員

5. 定員

40 名

6. 運営スタッフ

塩崎 俊彦 (高知大学 大学教育創造センター 副センター長 教授)

立川 明 (高知大学 大学教育創造センター 准教授)

杉田 郁代 (高知大学 大学教育創造センター 特任准教授)

竹岡 篤永 (高知大学 大学教育創造センター 特任助教)

俣野 秀典 (高知大学地域協働学部／大学教育創造センター 講師)

井上 博文 (高知大学学務課総務係)

高橋 智子 (高知大学学務課総務係)

7. 目的

授業を担当するにあたって必要となる基礎的な知識と技術を学びます。具体的には、授業の構想・設計・実施・評価に関わる一連の過程をグループ作業として体験し、参加者相互の話し合いを経てそれに関する能力を身につけます。

8. 研修の目標

- 1) 適切な授業の目的・目標が設定できるようになる。
- 2) わかりやすいシラバスを書けるようになる。
- 3) さまざまな授業方法を知り、目的・目標にあった方法を選択できるようになる。
- 4) さまざまな成績評価の方法を知り、目的・目標あった方法を選択できるようになる。
- 5) 学生参加型のグループ作業を自らの授業で導入することができるようになる。

9. 研修形態

- 1) 授業デザインやシラバスの書き方、公正な評価方法などについて学びます。
- 2) 異なる学部の教員が、普段着で肩書きなしの対等な意見交換をすることで、学習効果を高めます。
- 3) アクティブ・ラーニングの手法を体験しながら、学ぶことができます。

10. その他

- 1) テキストは、当日会場でお渡しします。
- 2) 研修が長時間に渡りますので、普段着でお越しください。
- 3) 当日記録のため、カメラとビデオカメラでの撮影を行いますので、了承ください。
- 4) 修了証書は、全日程に参加された方のみ授与されますので、あらかじめ了承ください。
- 5) 参加費として夕食代・お茶代1,500円を徴収いたします。またSPOD加盟校外からの参加の方は、別途研修料が必要です。
- 6) 7:00AM 高知市に暴風警報、または特別警報もしくは避難指示が出ていたら中止。

11. お申し込み・問い合わせ

高知大学学務課総務係 【TEL】 088-844-8144（直通） 【E-mail】 y-spod@kochi-u.ac.jp

12. プログラム日程

別紙資料参照

13. 他大学における新任教員プログラムのご案内

1) 高知大学「学生の学びを支援する授業準備ワークショップ」および愛媛大学、徳島大学、香川大学で開催されている新任教員プログラムは、四国地区教職員能力開発ネットワーク (SPOD) 内で標準化されており、どのプログラムを受講しても同様の効果を得ることができます。

2) 以下のプログラムの受講を希望される方は各大学の申し込み先にご連絡ください。

◆ 愛媛大学「第26回愛媛大学授業デザインワークショップ」

【日程】7月2日(土)~7月3日(日)

【会場】いまばり湯ノ浦ハイツ(宿泊研修)

【申し込み先・問い合わせ先】愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室 e-Mail: opar@stu.ehime-u.ac.jp

◆ 愛媛大学「第27回愛媛大学授業デザインワークショップ」

【日程】8月31日(水)~9月2日(金)

【会場】愛媛大学城北キャンパス

【申し込み先・問い合わせ先】愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室 e-Mail: opar@stu.ehime-u.ac.jp

◆ 徳島大学「授業設計ワークショップ」

【日程】6月18日(土)~6月19日(日)

【会場】徳島大学大学開放実践センター2階(6号館 201)

【申し込み先・問い合わせ先】徳島大学総合教育センター(担当/上岡) e-Mail: kykikakuk@tokushima-u.ac.jp

◆ 香川大学 新任教員研修会「よりよい授業のための FD ワークショップ」

【日程】9月15日(木)~9月16日(金)

【会場】休暇村讃岐五色台(香川県坂出市)

【申し込み先・問い合わせ先】香川大学教育・学生支援室修学支援グループ e-Mail: gakusenm4@jim.ao.kagawa-u.ac.jp

学生の学びを支援する授業準備ワークショップ スケジュール

[日時] 2016年8月30日(火)・31日(水)

[会場] 高知大学 朝倉キャンパス共通教育 3号館 1階 310番教室

日程	時間	項目
1日目 8/30(火)	8:45	受付開始 ※7:00AM 高知市に暴風警報、または特別警報もしくは避難指示が出ていたら中止
	9:00	開会 高知大学 大学教育創造センター 副センター長 塩崎 俊彦よりご挨拶
	9:10-9:40(30分)	オリエンテーション
	9:40-10:10(30分)	グループワークⅠ「良い授業とは？」
	10:10-10:20(10分)	休憩
	10:20-11:10(50分)	ミニレクチャーⅠ「目標設定と授業計画、シラバスの書き方」
	11:10-12:10(60分)	グループワークⅡ「共通教育科目の開発①(目標設定と授業計画)」
	12:10-12:30(20分)	ミニレクチャー「コースデザインの考え方」
	12:30-13:30(60分)	昼食 ※食堂や売店等をご利用ください。
	13:30-14:00(30分)	ミニレクチャーⅡ「様々な授業形態、それぞれのメリットとデメリット」
	14:00-14:50(50分)	ミニレクチャーⅢ「様々な成績評価、その目的と方法」
	14:50-15:00(10分)	休憩
	15:00-16:20(80分)	グループワークⅢ「共通教育科目の開発②(授業計画と評価の方法・スケジュール)」
	16:20-16:30(10分)	休憩
	16:30-17:30(60分)	グループ発表Ⅰ「グループワーク中間報告」
17:30-20:00頃	グループワークⅣ「共通教育科目の開発③(授業の計画・指導案)」 (お弁当を食べながらの交流会も含みます。) ※夕食は当方で手配いたします。	
2日目 8/31(木)	9:00-10:00(60分)	グループワークⅤ「共通教育科目の開発④(最終発表準備)」
	10:00-11:00(60分)	グループ発表Ⅱ
	11:00-12:00(60分)	ふりかえり～今後に向けて～

学生の学びを支援する

授業準備ワークショップ

開催日

2016年
8月30日(火)
8月31日(水)

会場：高知大学朝倉キャンパス共通教育棟3号館1階310番教室
対象者：新任教員（大学での授業担当経験5年未満）および新たに大学の授業を担当する教員

～お申込み～

平成28年8月16日(火)まで

宛先：裏面に記載

高知大学
朝倉キャンパス
共通教育棟
3号館1階
310番教室

1日目

2016年8月30日(火)9:00～20:00

1. オリエンテーション
2. グループワーク「良い授業とは？」
3. ミニレクチャー「目標設定と授業計画、シラバスの書き方」
4. グループワーク「共通教育科目の開発①（目標設定と授業計画）」
5. ミニレクチャー「コースデザインの考え方」
6. ミニレクチャー「様々な授業形態、それぞれのメリットとデメリット」
7. ミニレクチャー「様々な成績評価、その目的と方法」
8. グループワーク「共通教育科目の開発②（授業計画と評価の方法・スケジュール）」
9. グループ発表「グループワーク中間報告」
10. グループワーク「共通教育科目の開発③（授業の計画・指導案）」

※交流会あり（～20:00頃まで）

2日目

2016年8月31日(水)9:00～12:00

11. グループワーク「共通教育科目の開発④（最終発表準備）」
12. グループ発表
13. ふりかえり～今後に向けて～

学生の学びを支援する授業準備ワークショップ

<1日目の交流会について>

1日目に、夕食をとりながら参加者の意見交換や懇親のための交流会を設定しております。よって、1日目終了時刻は20:00ごろを予定しておりますので、ご了解ください。また、夕食代および研修中の飲料等の実費として、当日1,500円を徴収させていただきますので、ご用意くださいますようお願いいたします。

大学教育創造センターでは、授業改善や新たな授業に取り組まれる教員のために、さまざまな支援を行っています。御相談、申込については、下段のメールアドレス宛にお願い致します。

授業相談／授業コンサルティングのご案内

授業をやっていく上での疑問やお悩みなどのご相談に対応しています。お気軽にお問い合わせください。
授業相談（シラバス・授業方法などについてご相談に対応します）

また、授業開始後にも授業改善のための相談を実施します。下記を目途にお申込みください。

1学期 5月13日（金）まで

2学期 10月28日（金）まで

グループワーク授業OJTのご案内

本学が取り組んでいるグループワーク型授業について、実際に体験していただきながら、今後の指導のための理解を深めていただくために、当部門ではOn the Job Trainingを実施しております。下記の授業にOJT教員として参加していただき、グループワーク型授業の考え方や進め方などを体験することができます。

OJT対象授業（2学期開講分）

ピアサポートの理論と実践 木曜日3限
 化学概論II 木曜4限
 有機化学概論 金曜2限
 みのまわりの科学 金曜4限
 自由探求学習II 金曜4・5限（隔週）

*お申込み・お問い合わせ先

高知大学 学務課教育支援室総務係
 〒780-8520
 高知県高知市曙町2丁目5-1
 Tel：088-844-8144
 E-mail：y-spod@kochi-u.ac.jp

平成28年度高知大学セミナー表

日時		場所	研修	担当教員
4月6日(水)	9:00 ～12:00	311	大学授業入門	塩崎俊彦・立川明・杉田郁代・俣野秀典 (大学教育創造センター)
8月30日(火) ～8月31日(水)	9:00 ～12:00	310	学生の学びを支援する授業準備ワークショップ	塩崎俊彦・立川明・杉田郁代・俣野秀典 (大学教育創造センター)
9月6日(火)	10:00 ～12:00	310	講義に小グループ・ペア学習を取り入れた 授業デザイン～考え方と進め方～	俣野秀典 (大学教育創造センター)
9月6日(火)	13:30 ～15:30	310	はじめてみよう！アクティブ・ラーニング	立川明 (大学教育創造センター)
9月7日(水)	9:30 ～12:30	310 (予定)	グループワークの技法	塩崎俊彦・立川明・杉田郁代・俣野秀典 (大学教育創造センター)
9月7日(水)	13:30 ～16:30	310	学生の声を生かした授業デザイン ～教育心理学の視点から～	杉田郁代 (大学教育創造センター)
9月27日(火)	13:30 ～17:30	物部 (未定)	TA講習	立川明 (大学教育創造センター)
9月28日(水)	10:00 ～17:00	310 (予定)	ピアサポーター養成講座	杉田郁代 (大学教育創造センター)
10月1日(土) ～10月2日(日)	10:00 ～17:00	310	ファシリテーション力養成道場	俣野秀典・塩崎俊彦 (大学教育創造センター)
1月25日(水)	13:30 ～15:00	310 (予定)	シラバスブラッシュアップワークショップ	立川明 (大学教育創造センター)
3月27日(月)	13:30 ～16:30	310	能動的学習支援者必須！ グループワークのためのファシリテーション入門	塩崎俊彦・立川明・杉田郁代・俣野秀典 (大学教育創造センター)
3月30日(水)	13:30 ～17:30	142 (予定)	TA講習	立川明 (大学教育創造センター)

開催場所<310：（朝倉）共通教育棟3号館1階310番教室，311：（朝倉）共通教育棟3号館1階311番教室，
 142：（朝倉）共通教育棟1号館4階142番教室>

平成 28 年度香川大学新任教員研修会
『第 7 回よりよい授業のためのFDワークショップ』実施要項

1. 目的

授業の構想・設計・実施・評価に関わる一連の過程をグループワーク形式で体験し、授業実践のために必要な能力を身につけることを目的とします。

2. 対象者

・香川大学

- 1) 一昨年度から今年度にかけて新規採用された、授業担当または担当予定の教員
(授業担当経験 3 年以上の教員、本ワークショップ受講修了者を除く)
- 2) 昨年都合により受講できなかった教員
- 3) その他参加を希望する教員

・SPOD加盟校

参加を希望する教員

3. 日程

平成 28 年 9 月 15 日(木)～16 日(金) (1泊2日)

(詳細は別紙日程表のとおり。)

4. 場所

休暇村讃岐五色台

(〒762-0015 香川県坂出市大屋富町 3042 電話 0877-47-0231)

5. 費用

研修の費用は無料です。

ただし、宿泊・食費等の実費を徴収します。(1泊4食 約12,000円)

*SPOD加盟校の旅費については、各大学・短大・高専でご負担願います。

6. 修了証書

研修修了者には、修了証書を授与します。

7. 主催

香川大学 大学教育基盤センター

8. その他

この研修会は、SPOD(四国地区大学教職員能力開発ネットワーク)の研修プログラムとして、SPOD加盟校に開放し実施します。

研修会の事務については修学支援グループ及び給与福利グループが担当します。

日程表プログラム日程

1日目 9月15日(木)

8:20までに香川大学北キャンパス 正門付近に集合

(敬称略)

時刻	内容	講師・司会	場所
8:20-9:15	送迎バス移動, 到着後受付		
9:15-9:30	(1) オリエンテーション ・開会あいさつ ・研修の目的・目標の確認 ・スタッフ紹介とお願い		五色台の間 (中会議室)
9:30-10:00	(2) アイスブレイキング ・自己紹介 ・グループワーク	葛城 浩一	五色台の間 (中会議室)
10:00-10:40	(3) グループワークⅠ 「学生の考える良い授業」	西本 佳代	五色台の間 (中会議室)
10:40-10:50	休憩		
10:50-11:40	(4) 講義Ⅰ「シラバスの書き方」 ・目標設定の立て方 ・授業計画の立て方	葛城 浩一	五色台の間 (中会議室)
11:40-12:30	(5) グループワークⅡ「全学共通科目の開発Ⅰ」 ・目標設定 ・授業計画 ・シラバス作成	スタッフ全員	五色台の間 (中会議室)
12:30-13:30	昼食		
13:30-14:20	(6) 講義Ⅱ「様々な授業方法」 ・アクティブラーニングとは ・協同学習の技法	西本 佳代	五色台の間 (中会議室)
14:20-14:30	休憩		

14:30-15:20	(7) 講義Ⅲ「よりよい成績評価のために」 ・成績評価の目的 ・評価の方法と評価対象	佐藤 慶太	五色台の間 (中会議室)
15:20-16:50	(8) グループワークⅢ「全学共通科目の開発Ⅱ」 ・授業計画と評価計画	スタッフ全員	五色台の間 (中会議室)
16:50-17:10	休憩		
17:10-18:30	(9) グループ発表Ⅰ「中間発表」 ・授業計画のプレゼン ・質疑応答	5分×3 10分×3 石井 知彦	五色台の間 (中会議室)
18:30-19:30	夕食		
19:30-21:00	(10)グループワークⅣ「全学共通科目の開発Ⅲ」 ・授業計画案作成	スタッフ全員	五色台の間 (中会議室)
21:00~22:00	懇親会・入浴・自由時間		赤峰の間

2日目 9月16日(金)

時刻	内容	講師・司会	場所
7:30-8:00	朝食		
8:00-10:00	(11)グループワークV「共通教育科目の開発Ⅳ」 ・役割決定 ・授業の練習	スタッフ全員	五色台の間 (中会議室)
10:00-12:00	(12)グループ発表Ⅱ「最終発表」 ・授業紹介 5分 ・ミニ授業 15分 ・討議・検討 10分	石井 知彦	五色台の間 (中会議室)
12:00-12:30	(13)閉会式 ・グループ作業の振り返り(学んだことは何か?どう実践に活かすか?) ・修了証書授与 ・閉会の言葉		五色台の間 (中会議室)
12:30-13:00	昼食(研修の振り返り)		

13:00 写真撮影・送迎バスにて香川大学まで・解散

SPOD研修アンケート集計結果

研修名：平成28年度「職員のための講師養成講座(総論)」
 実施日：平成28年6月16日(木)～6月17日(金)
 実施会場：愛媛大学校友会館 2階 サロン
 アンケート回答者数：9名

1. 参加者ご自身について

(1) 所属先

	回答数	割合
① 4年制大学	8	88.9
② 短期大学	1	11.1
③ 高等専門学校	0	0.0
④ その他()	0	0.0
計	9	100.0

(2) 所属先の設置者

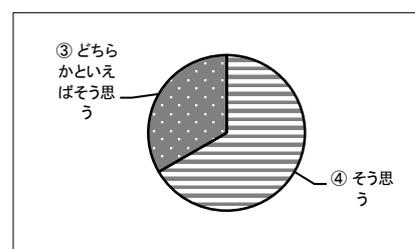
	回答数	割合
① 国(国立大学法人)	7	77.8
② 地方自治体(公立大学法人を含む)	1	11.1
③ 学校法人	1	11.1
④ その他()	0	0.0
計	9	100.0

(3) 現在のあなたにとってレベルアップが必要なスキル・知識は何ですか。(具体的に)
別紙記載

2. 研修参加への経緯について

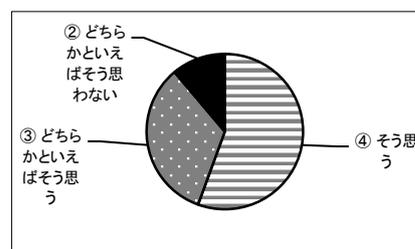
(1) 研修目的や内容についてある程度知った上で参加した

	回答数	割合
④ そう思う	6	66.7
③ どちらかといえばそう思う	3	33.3
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	9	100.0



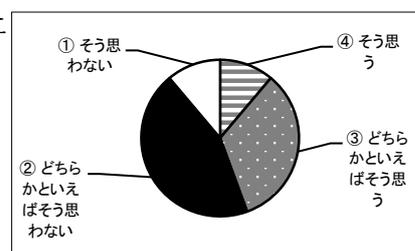
(2) 自分自身で能力開発の必要性を感じて参加した

	回答数	割合
④ そう思う	5	55.6
③ どちらかといえばそう思う	3	33.3
② どちらかといえばそう思わない	1	11.1
① そう思わない	0	0.0
計	9	100.0



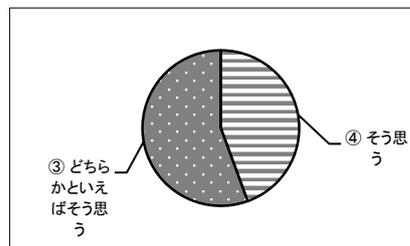
(3) 研修内容をすぐに活用しなければならない状況で参加した

	回答数	割合
④ そう思う	1	11.1
③ どちらかといえばそう思う	3	33.3
② どちらかといえばそう思わない	4	44.4
① そう思わない	1	11.1
計	9	100.0



(4) 上司はこの研修への参加を肯定的に捉えている

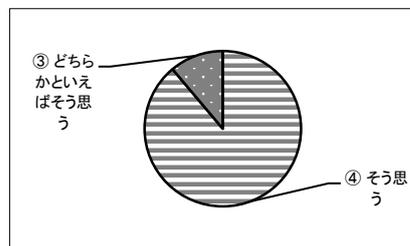
	回答数	割合
④ そう思う	4	44.4
③ どちらかといえばそう思う	5	55.6
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	9	100.0



3. 研修プログラムの設計について

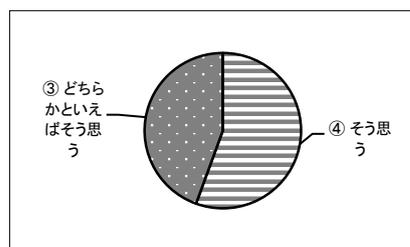
(1) 研修の目的は明確に設定されていた

	回答数	割合
④ そう思う	8	88.9
③ どちらかといえばそう思う	1	11.1
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	9	100.0



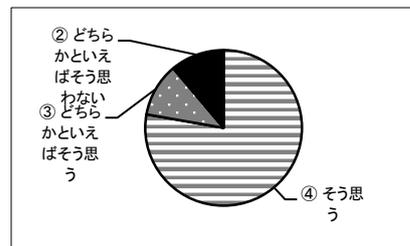
(2) 研修は自分の業務に生かせる内容だった

	回答数	割合
④ そう思う	5	55.6
③ どちらかといえばそう思う	4	44.4
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	9	100.0



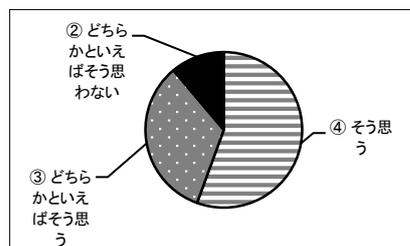
(3) 研修はわかりやすい順序ですすめられた

	回答数	割合
④ そう思う	7	77.8
③ どちらかといえばそう思う	1	11.1
② どちらかといえばそう思わない	1	11.1
① そう思わない	0	0.0
計	9	100.0



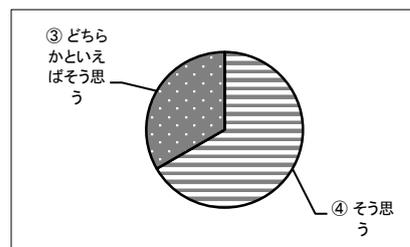
(4) 研修会場は快適な環境だった

	回答数	割合
④ そう思う	5	55.6
③ どちらかといえばそう思う	3	33.3
② どちらかといえばそう思わない	1	11.1
① そう思わない	0	0.0
計	9	100.0



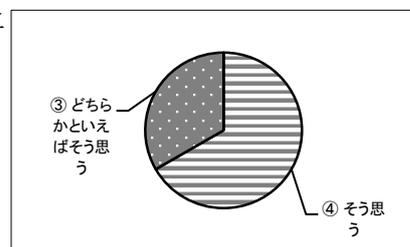
(5) 研修内容は丁度良いレベルに設定されていた

	回答数	割合
④ そう思う	6	66.7
③ どちらかといえばそう思う	3	33.3
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	9	100.0



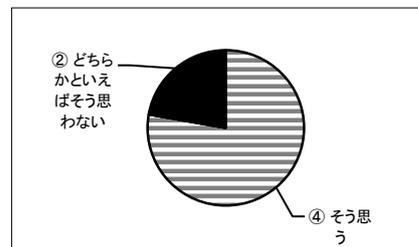
(6) 研修時間は研修目的を達成するために丁度良い長さだった

	回答数	割合
④ そう思う	6	66.7
③ どちらかといえばそう思う	3	33.3
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	9	100.0



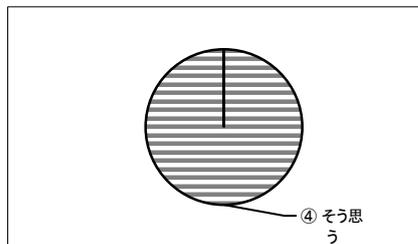
(7) 研修の実施時期は適当だった

	回答数	割合
④ そう思う	7	77.8
③ どちらかといえばそう思う	0	0.0
② どちらかといえばそう思わない	2	22.2
① そう思わない	0	0.0
計	9	100.0



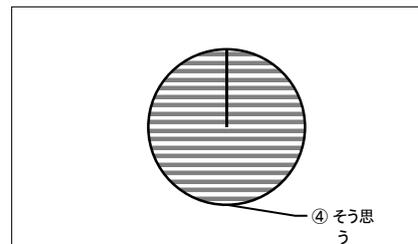
(8) 研修会場には十分な設備が整っていた

	回答数	割合
④ そう思う	9	100.0
③ どちらかといえばそう思う	0	0.0
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	9	100.0



(9) 参加者の人数は適当だった

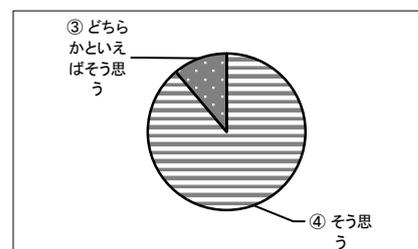
	回答数	割合
④ そう思う	9	100.0
③ どちらかといえばそう思う	0	0.0
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	9	100.0



4. 研修スタッフについて

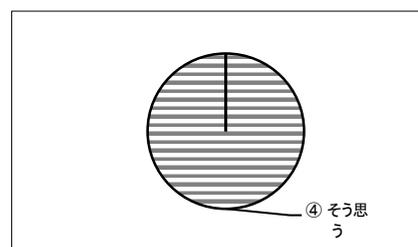
(1) 講師の言動は学習意欲を高めた

	回答数	割合
④ そう思う	8	88.9
③ どちらかといえばそう思う	1	11.1
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	9	100.0



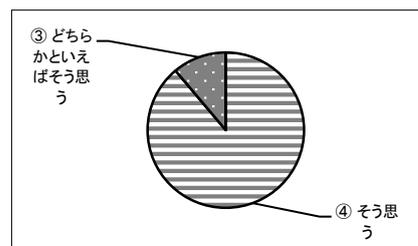
(2) 事務局は手際よく研修を運営していた

	回答数	割合
④ そう思う	9	100.0
③ どちらかといえばそう思う	0	0.0
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	9	100.0



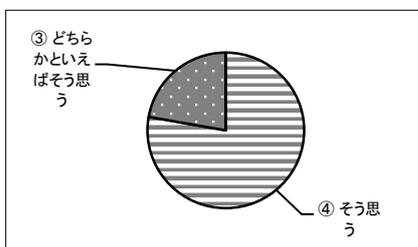
(3) 講師は研修に必要な知識を十分に持っていた

	回答数	割合
④ そう思う	8	88.9
③ どちらかといえばそう思う	1	11.1
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	9	100.0



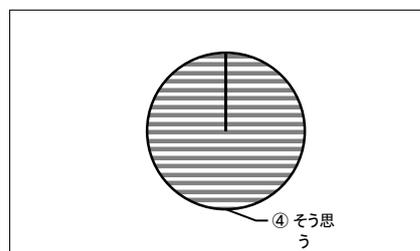
(4) 講師の用意した教材はわかりやすかった

	回答数	割合
④ そう思う	7	77.8
③ どちらかといえばそう思う	2	22.2
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	9	100.0



(5) 事務局の対応は丁寧だった

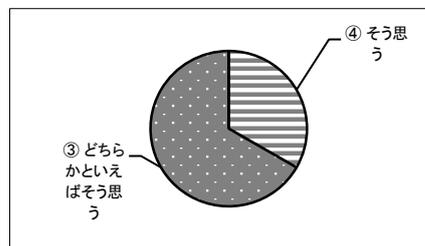
	回答数	割合
④ そう思う	9	100.0
③ どちらかといえばそう思う	0	0.0
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	9	100.0



5. 研修成果について

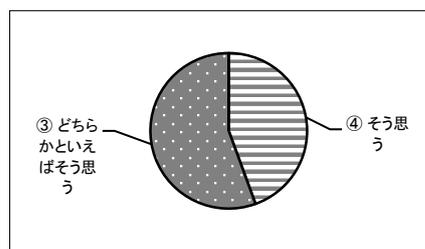
(1) 自分に必要な知識やスキルを身につけることができた

	回答数	割合
④ そう思う	3	33.3
③ どちらかといえばそう思う	6	66.7
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	9	100.0



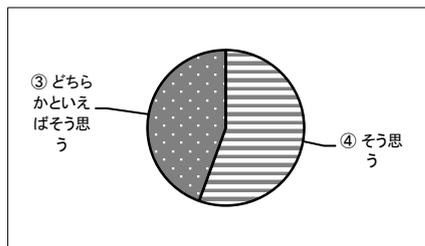
(2) 受講したことによって業務の取り組み方が改善されると思う

	回答数	割合
④ そう思う	4	44.4
③ どちらかといえばそう思う	5	55.6
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	9	100.0



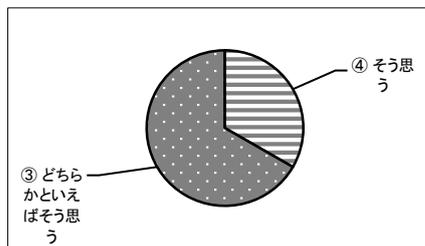
(3) 研修の内容は十分理解できた

	回答数	割合
④ そう思う	5	55.6
③ どちらかといえばそう思う	4	44.4
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	9	100.0



(4) 新たに人的なつながりをつくることができた

	回答数	割合
④ そう思う	3	33.3
③ どちらかといえばそう思う	6	66.7
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	9	100.0



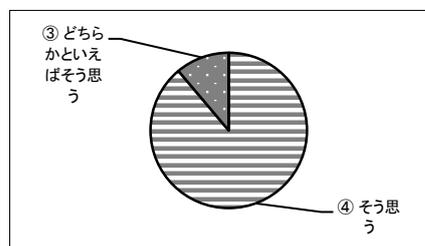
受講して良かったと思われる点を、具体的にお書きください。

別紙記載

6. 研修全体について

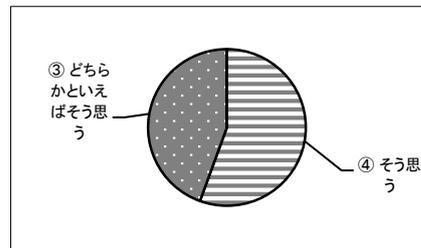
(1) 研修は全体的に満足できるものだった

	回答数	割合
④ そう思う	8	88.9
③ どちらかといえばそう思う	1	11.1
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	9	100.0



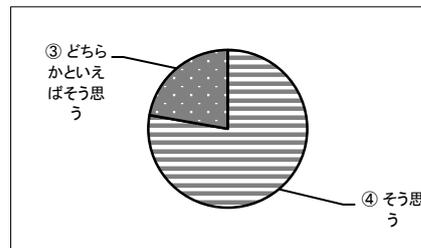
(2) 研修は期待を上回る内容だった

	回答数	割合
④ そう思う	5	55.6
③ どちらかといえばそう思う	4	44.4
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	9	100.0



(3) 今後もこの研修を継続していくべきだと思う

	回答数	割合
④ そう思う	7	77.8
③ どちらかといえばそう思う	2	22.2
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	9	100.0



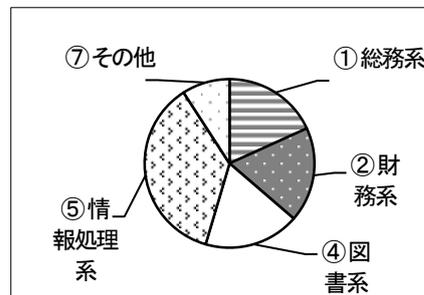
研修をよりよいものとするために改善すべき点があれば、具体的にお書きください。

別紙記載

7. SPODにおけるSDプログラム開発について

今後、SPODにおいて専門職養成プログラムを開発する予定ですが、どのような分野のSDプログラムが必要だと思いますか。（複数回答可）

	回答数	割合
① 総務系	2	22.2
② 財務系	2	22.2
③ 施設系	0	0.0
④ 図書系	2	22.2
⑤ 情報処理系	4	44.4
⑥ 医事系	0	0.0
⑦ その他	1	11.1



⑦その他
メンタルヘルス

1 (3) 現在のあなたにとってレベルアップが必要なスキル・知識は何ですか。(具体的に)

- ・プレゼンテーションスキル (3)
- ・話し方 (2)
- ・講師内容の設定
- ・人材育成
- ・人材管理能力
- ・研修講師を務めることを含めた知識の蓄積
- ・講習ができる能力
- ・聞き手を飽きさせないスキル
- ・パワーポイント作成スキル
- ・場面に応じた対応 (クレーム対応など)
- ・ネットワーク系の知識

5. 受講して良かったと思われる点を、具体的にお書き下さい。

- ・講師をする以外でも、日常業務に活かすことができる知識を習得できた。
- ・講師としての基本部分を学ぶことができた。
- ・基本をじっくり学んだり、体験する機会がないため、Off-JT の特にいいところだが、大枠や基本的な型を学べたのがとても良かった。
- ・自分の視点以外の考え方や目の付け方が参考になったので、グループワークは視野を広げる意味でも良かった。
- ・講習に対し、基礎的な知識を学ぶことができた。
(・導入→展開→まとめ ・パワーポイント ・目標の作り方)
- ・講師が親しみやすかった。
- ・本学の卒業生と研修に参加できたこと。
- ・研修の進め方の手順を学べた。
- ・研修の講師をする予定はないが、人に教える時 (業務引継など) の参考になった。

6. 研修をよりよいものとするために改善すべき点があれば、具体的にお書き下さい。

- ・スライドにもページ番号があると良いかなと思った。
- ・今回9名の参加で丁度良かった。20名となると、少し多いのかなと思う。
- ・スライドの番号が見つからないため、どこを話しているのか戸惑うことがあった。

SDコーディネーター養成講座 & I R e r 養成講座

2016. 10. 14 FRI → 16 SUN

会場／椋山女学園大学 星が丘キャンパス
(名古屋市千種区星が丘元町17番3号)

参加費／無料

主催／愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室
(教職員能力開発拠点)

共催／椋山女学園大学

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室(教職員能力開発拠点)は、全国の高等教育機関の発展のため、FD/SD/IRの専門家・実践的指導者の養成に取り組んでいます。全国拠点としてこれまで東北、関東、関西、九州地区で各種講座を開催してきましたが、今回は初めて中部地区(名古屋市)で開催します。全国の皆様のご参加をお待ちしております。



SDコーディネーター養成講座

参加対象者

SDを担当する教職員

SDコーディネーターに関心のある教職員

先着
30名

- ※3日間の参加が可能な方のみとなります。
- 全プログラムの受講者には修了証をお渡しします。
- ※民間企業等に勤務されている方の参加はお断りしております。
- ※多くの機関の方々にご参加いただくため、同一機関からのお申し込みが多数の場合は、全体のお申し込み状況により受講を制限させていただくことがあります。

I R e r 養成講座

参加対象者

IRを担当する教職員

IRに関心のある教職員

先着
40名

- ※3日間の参加が可能な方のみとなります。
- 全プログラムの受講者には修了証をお渡しします。
- ※民間企業等に勤務されている方の参加はお断りしております。
- ※多くの機関の方々にご参加いただくため、同一機関からのお申し込みが多数の場合は、全体のお申し込み状況により受講を制限させていただくことがあります。

SDコーディネーター養成講座

■実施目的: 職員の能力開発(SD)の実践的指導者(SDコーディネーター/SDC)になるため、その役割や求められる能力を理解し、実際のSD推進に活用できる具体的手法を身につけることを目的としています。

到達目標

- ① 人材育成ビジョンの必要性を説明することができる
- ② 自大学における人材育成ビジョンを策定するために、その構築手法を修得することができる
- ③ 自らのキャリアを開発するために、スタッフ・ポートフォリオ(SP)を作成することができる
- ④ 職員のキャリア開発を支援するために、メンタリングを行うことができる
- ⑤ SDの実践力を身につけるために、SDプログラムを企画・運営・評価することができる
- ⑥ SDに関する多様な考え方や経験を尊重し、共に学び合う雰囲気をつくること



スケジュール

[1日目] 10月14日(金)

- 12:30 受付(相山人間交流会館1階キャリア教育推進ルーム)
13:00 (1) オープニング・アイスブレイク
※IRer養成講座と合同開催
13:30 会場移動(教育学部棟3階C310室)
13:40 (2) オリエンテーション
(3) SD, SDCについて理解する〔丸山智子〕
14:15 (4) 人材育成ビジョンの必要性について理解する
〔吉田一恵〕
14:45 休憩
15:00 (5) 組織の人材育成ビジョン作成ワークショップ
〔吉田一恵〕
18:00 終了
18:30~20:30 情報交換会(参加任意/会費:4,000円)
※IRer養成講座と合同開催

[2日目] 10月15日(土)

- 9:30 (6) SP, メンタリングの導入事例及びその有効性
について〔吉田一恵・久保秀二〕
10:30 休憩
10:45 (7) 個人のビジョン作成ワークショップ〔一ノ瀬大一〕
12:00 休憩
13:00 (8) メンタリングを実践する〔近藤智彦〕
14:30 (9) SPOD-SD研修カリキュラム構築手法の紹介
〔丸山智子〕
15:00 休憩
15:15 (10) SDプログラムを企画する〔中井俊樹〕
(11) SDプログラムを運営する〔中井俊樹〕
16:45 休憩
17:00 (12) SDプログラムを評価する〔榊原暢久〕
18:00 終了

[3日目] 10月16日(日)

- 9:30 (13) SDプログラムを開発する〔丸山智子〕
12:00 休憩
13:00 (14) SDプログラム発表(ポスターセッション)
〔全講師〕
14:00 (15) 振り返り
14:20 会場移動(相山人間交流会館1階キャリア教育推進ルーム)
14:30 (16) クロージング ※IRer養成講座と合同開催
15:00 終了

お申し込み

定員人数に到達次第、募集を締め切ります。
お早めにお申し込みください。

下記のサイトからお申し込みください。

<http://web.opar.ehime-u.ac.jp/>

■ 受付開始 : 平成28年7月25日(月)正午

■ 申込締切 : 平成28年8月17日(水)正午

※受付完了後、確認メールを送信します。

※いただいた情報は本講座以外に使用することはありません。

※ホームページから申し込みができない場合は、下記までメールで
ご連絡ください。

■ 宛先 / kiyoiuku@stu.ehime-u.ac.jp

■ メール件名 / SDコーディネーター養成講座申込み(氏名〇〇〇)

先着
30名

事前課題

- ① スタッフ・ポートフォリオ ※受付完了後、様式をお送りします。
- ② 自大学で実施している『新任職員に対する研修』の実施要項(受講者間で共有可能なもの)をPDFデータ(A4用紙5枚まで)で提出してください。該当するものがない場合は、職員に対する何らかの研修の実施要項で結構です。
※資料の1枚目右上に、大学名及び氏名をご記入ください。

■ 提出期限 / 平成28年9月16日(金)

■ 提出先 / kiyoiuku@stu.ehime-u.ac.jp

持参物

事前課題で提出いただいたスタッフ・ポートフォリオ2部 (※研修会当日メンタリングを実施する際に使用します。)

IRer 養成講座

■実施目的: IRの担当者として必要とされるIRに関する知識, データ分析および教育改善の提案に関わるスキルの習得を目指します。また, 参加者間でさまざまな工夫を共有することとおして, 参加者が自大学でも活用できる実践的な知識を身につけます。

到達目標

- ① IRの実践における指針を説明することができる
- ② 教育改善のための質的分析を行うことができる
- ③ 教育改善のための量的分析を行うことができる
- ④ 調査票の改善方法を提案することができる
- ⑤ データ分析を基に教育改善のための提案をすることができる
- ⑥ IRに関する多様な考えや経験を尊重し, 共に学び合う雰囲気をつくることのできる



スケジュール

[1日目] 10月14日(金)

- 12:30 受付(相山人間交流会館1階キャリア教育推進ルーム)
13:00 (1) オープニング・アイスブレイク
※SDC養成講座と合同開催
13:30 (2) オリエンテーション
13:40 (3) IRとIRの5つのステップを理解する [中井俊樹]
14:50 休憩
15:00 (4) 所属大学でのIRの実践を紹介する [清水栄子]
16:15 休憩
16:30 (5) 質的データを分析する [杉田郁代・加地真弥]
18:00 終了
18:30~20:30 情報交換会(参加任意/会費:4,000円)
※SDC養成講座と合同開催

[2日目] 10月15日(土)

- 9:30 (6) 量的データを分析する
[中山 晃・西出 崇・清水栄子]
12:00 休憩
13:00 (7) 調査票を改善する [小林忠資]
15:30 休憩
15:45 (8) 教育改善の提案を考える①
[グループワーク]
18:00 終了

[3日目] 10月16日(日)

- 9:30 (9) 教育改善の提案を考える②
[グループワーク]
11:30 休憩
12:30 (10) 教育改善の提案をする
14:00 (11) 振り返り
14:30 (12) クロージング ※SDC養成講座と合同開催
15:00 終了

お申し込み

定員人数に到達次第, 募集を締め切ります。
お早めにお申し込みください。

下記のサイトからお申し込みください。

<http://web.opar.ehime-u.ac.jp/>

■ 受付開始 : 平成28年7月25日(月)正午

■ 申込締切 : 平成28年8月17日(水)正午

※受付完了後, 確認メールを送信します。

※いただいた情報は本講座以外に使用することはありません。

※ホームページから申し込みができない場合は, 下記までメールでご連絡ください。

■ 宛先 / kiyoiuku@stu.ehime-u.ac.jp

■ メール件名 / IRer養成講座申込み(氏名〇〇〇)

先着
40名

事前課題

- ① 自大学の全学(または学部)レベルの学生実態調査, 授業評価アンケート等の実施概要, 調査結果などを簡潔にまとめたものをご提出ください。(A4用紙3枚程度まで・様式は自由)
- ② 提出可能な方は, 自大学の学生調査等のアンケート調査票を提出してください。

※提出いただいた資料は参加者に配付し共有します。

※各資料の1枚目右上に, 大学名及び氏名をご記入ください。

■ 提出期限 / 平成28年9月16日(金)

■ 提出先 / kiyoiuku@stu.ehime-u.ac.jp

持参物

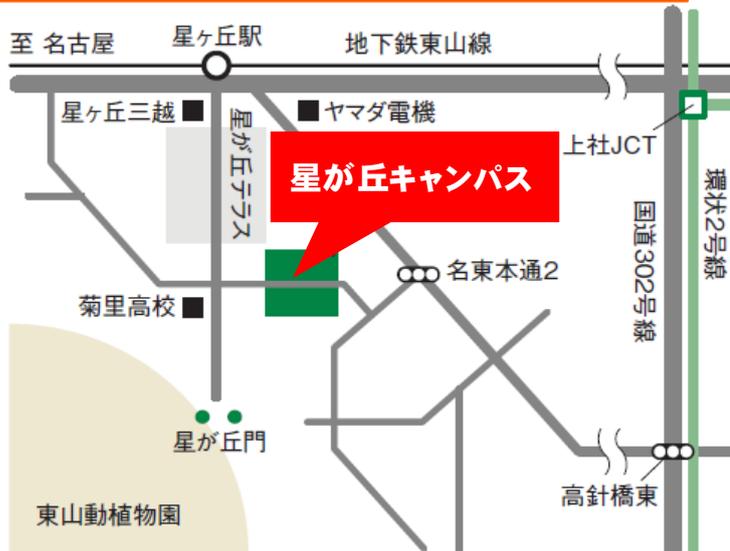
2日目午前の研修(6)でデータ分析の演習を行いますので, ノートパソコンをご持参ください。

※会場の都合上, 充電済みのものをご持参いただきますよう, ご協力をお願いします。

<h1>講師</h1>	SDC・IRer養成講座	SDC・IRer養成講座	SDC養成講座	SDC養成講座
				
	小林 直人 <small>(教職員能力開発拠点代表)</small> 愛媛大学学長特別補佐 教育企画室長・教授	中井 俊樹 愛媛大学教育企画室 副室長・教授	丸山 智子 愛媛大学教育企画室 特任助教 (SDC)	吉田 一恵 愛媛大学 教育学生支援部長 (SDC)
SDC養成講座	SDC養成講座	SDC養成講座	SDC養成講座	IRer養成講座
				
久保 秀二 愛媛大学総務部 人事課副課長 (SPOD-SDC)	榎原 暢久 芝浦工業大学 教育イノベーション推進センター 工学部 教授	近藤 智彦 愛知大学 豊橋事務部長	一ノ瀬 大一 九州産業大学 教務部教務第二係長	清水 栄子 愛媛大学教育企画室 講師 (SDC)
IRer養成講座	IRer養成講座	IRer養成講座	IRer養成講座	IRer養成講座
				
小林 忠資 愛媛大学教育企画室 特任助教	加地 真弥 愛媛大学教育企画室 特定研究員	中山 晃 愛媛大学 英語教育センター准教授	杉田 郁代 高知大学 大学教育創造センター 特任准教授	西出 崇 京都外国語大学 総合企画室 IR推進グループ 外国語学部 講師

■ 会場アクセス 相山女学園大学 星が丘キャンパス

地下鉄東山線「星ヶ丘」下車，6番出口より徒歩5分



※星が丘キャンスマップ：<http://www.sugiyama-u.ac.jp/univ/campus/map/hoshigaoka/>

教職員能力開発拠点

(愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室)

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室は、平成22年3月に文部科学大臣から教育関係共同利用拠点(拠点名称:教職員能力開発拠点)に認定され(認定期間5年)、平成26年7月には、さらに5年間の再認定を受けました。教職員能力開発拠点では、FD/SD/IRの専門性の高い指導者の育成、長期的なコンサルテーションを通じた各組織の自律的な教育改善の支援を始め、研修講師の派遣や独自で開発したFD/SD研修プログラムの提供など、幅広い取組を行っています。

■ お問い合わせ

愛媛大学教育学生支援部教育企画課

TEL : 089-927-9154

E-mail : kियोiku@stu.ehime-u.ac.jp